



全日病S-QUE看護師特定行為研修

医療安全学／特定行為実践

共通科目



2.⑤チーム医療の実習と演習

チーム医療の実習

奈良県立医科大学 集中治療部病院教授

井上 聡己 氏

奈良県立医科大学附属病院リソースナースセンター特定看護師統括マネージャー

辻本 雄大 氏

チーム医療の実習と演習 ～チーム医療の実習～

奈良県立医科大学附属病院
集中治療部 病院教授
井上聡己

リソースナースセンター
急性・重症患者看護専門看護師・特定看護師統括マネジャー
辻本雄大

学習目標

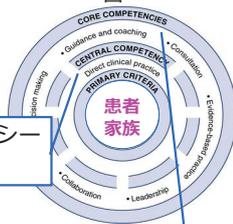
- ・ 特定行為やチーム医療を行う上で、他の医療スタッフの役割を理解し、円滑にコミュニケーションがとれる
- ・ 自施設における日常のチーム医療から、自己を振り返り、課題を見出し、具体的な改善策を考えることができる

特定行為研修を修了した看護師の役割と必要な要素

- ▶ 地域医療及び高度医療の現場において、特定行為を実践する看護師として社会的責任と役割を自覚しながら、高度な臨床実践能力を発揮し、**チーム医療のキーパーソン**として機能する Harmic(1996) APN概念

- 2025年問題
- チーム医療
- 働き方改革
- 特定行為研修

中心的コンピテンシー
①直接実践



コアコンピテンシー
②相談 ③ガイダンスとコーチング
④リーダーシップと協働
⑤倫理的意識決定 ⑥EBP

実習内容

- パターン①** : 指導者同席のもとで実際の多職種カンファレンスに参加できる場合
- パターン②** : 多職種カンファレンスに参加できない場合
・ 研修生によるチーム医療の経験の振り返り

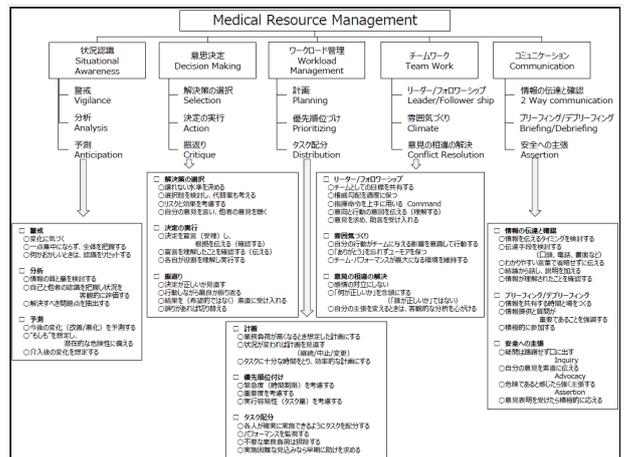
パターン① : 指導者同席のもとで実際の多職種カンファレンスに参加できる場合

- ▶ 以下のどちらかに該当するカンファレンスに参加

- ・ 特定行為研修を修了した看護師や指導医が担当している多職種カンファレンス
- or
- ・ (区分別科目の実習中に実施する場合) 指導者の同席のもとで特定行為を行った患者についての多職種カンファレンス

パターン① : 指導者同席のもとで実際の多職種カンファレンスに参加できる場合

チーム医療の振り返りの視点



パターン①：指導者同席のもとで実際の多職種カンファレンスに参加できる場合

評価：ルーブリックの活用

- 学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したもの
- 主にパフォーマンス課題を評価するために使われる
- 評価するもの、使用するもの双方に効果がある

| 評価項目 | 優秀 | 良 | 再学習 |
|-----------|--|--|--|
| 状況認識 | ・ 置換・分析 以上の項目全てを踏まえた置換・行動が取れている (20点) | ・ 置換・分析・予測 以上の項目1～2つを踏まえた置換・行動が取れている (10点) | ・ 置換・分析・予測 以上の項目を踏まえた置換・行動が取れていない (0点) |
| 意思決定 | ・ 解決策の選択・決定の実行・振り返り 以上の項目全てを踏まえた置換・行動が取れている (20点) | ・ 解決策の選択・決定の実行・振り返り 以上の項目1～2つを踏まえた置換・行動が取れている (10点) | ・ 解決策の選択・決定の実行・振り返り 以上の項目を踏まえた置換・行動が取れていない (0点) |
| ワークロード管理 | ・ 計画・優先順位付・タスク分析 以上の項目全てを踏まえた置換・行動が取れている (20点) | ・ 計画・優先順位付・タスク分析 以上の項目1～2つを踏まえた置換・行動が取れている (10点) | ・ 計画・優先順位付・タスク分析 以上の項目を踏まえた置換・行動が取れていない (0点) |
| チームワーク | ・ リーダー/フォローシップ・意思の相違の解決 以上の項目全てを踏まえた置換・行動が取れている (20点) | ・ リーダー/フォローシップ・意思の相違の解決 以上の項目1～2つを踏まえた置換・行動が取れている (10点) | ・ リーダー/フォローシップ・意思の相違の解決 以上の項目を踏まえた置換・行動が取れていない (0点) |
| コミュニケーション | ・ 情報の伝達と確認・フリーフィング/ディフリーフィング 安全への主張 以上の項目全てを踏まえた置換・行動が取れている (20点) | ・ 情報の伝達と確認・フリーフィング/ディフリーフィング 安全への主張 以上の項目1～2つを踏まえた置換・行動が取れている (10点) | ・ 情報の伝達と確認・フリーフィング/ディフリーフィング 安全への主張 以上の項目を踏まえた置換・行動が取れていない (0点) |

最高評価 100点

パターン②：多職種カンファレンスに参加できない場合

・ 研修生によるチーム医療の経験の振り返り

➤ **経験の内省：リフレクションシートの記入**

- 研修生の自施設におけるチーム医療において印象に残っている経験についてリフレクションシートを用いて振り返る
 - ① **成功事例** or ② **困難事例**
- 研修生が2人以上いる場合、リフレクションシートを記入でき次第、2人一組となり、ルーブリック評価表に点数をつけ、お互いにフィードバックを行い、追記する。

パターン②：多職種カンファレンスに参加できない場合

リフレクションシート記入と相互フィードバック

※可能であれば、この項目に、シラバスの講義番号「218」のMRMを参考にして下さい。

評価者の評価基準を確認し、評価をしてください

| 自己評価 |
|------|
| |

研修生からの評価

| 評価 | フィードバックコメント |
|----|-------------|
| | |
| | |

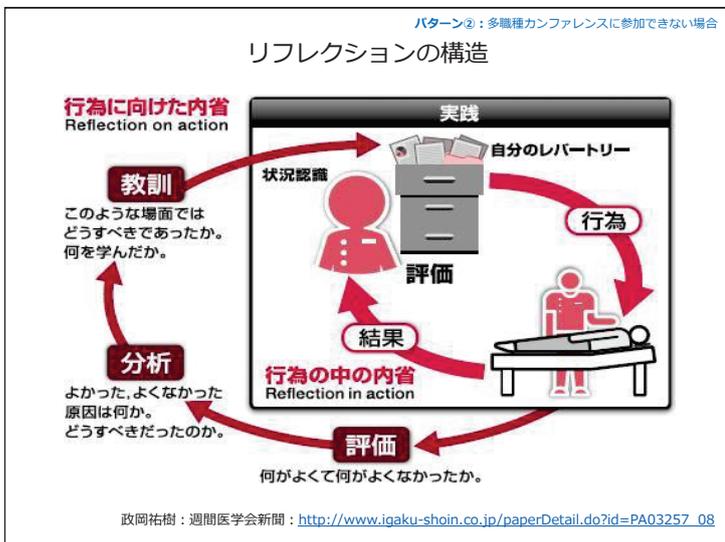
自施設研修生/他施設からの評価

| 評価 | フィードバックコメント |
|----|-------------|
| | |
| | |

パターン②：多職種カンファレンスに参加できない場合

リフレクション≒内省とは

- 自己の思考・感情、判断、行為について**自覚的**になり、**熟考し、次からどうしていきべきか**を見出していくこと
- 熟達した専門家の思考様式

パターン②：多職種カンファレンスに参加できない場合

評価：ルーブリックの活用

- 学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したもの
- 主にパフォーマンス課題を評価するために使われる
- 評価するもの、使用するもの双方に効果がある

| 評価項目 | 優秀 | 良 | 再学習 |
|-------|---|---|---|
| 気づき | 自分がどのように出来事に影響を与えたのか、状況がどのように自分に影響したのかを踏まえ、経験した事象での行為・思考・感情について記述されている (20点) | 経験した事象の中での行為・思考・感情について記述されている (10点) | 起こった事象のみ記述されている (0点) |
| 批判的分析 | 経験した事象/ワークショップの中で、チームパフォーマンスを構成する要素を精査した上で、これまでに得た知識を再認識し、思い込みを疑い、自己の行為・思考・感情に対する評価および分析ができている (20点) | チーム全体のパフォーマンスを踏まえ、自己の行為・思考・感情に対する評価および分析ができている (10点) | 自己の行為・思考・感情に対する評価のみである (0点) |
| 学び | 経験した事象を基に、これまでのチーム医療に対する知識・スキル・態度・態度への影響を学びとして具体的に記述することができる (30点) | 経験した事象/ワークショップを基に、チーム医療に対する学びを具体的に記述することができる (20点) | 学びを記述できているが、具体的に欠ける (10点) |
| 学びの適応 | 所属施設の状況を踏まえ、学んだことを活かす場面・事例を複数挙げ、具体的に記述できている。または、自施設の状態を踏まえ、どう改善していくのかを具体的に記述できている。 (30点) | 所属施設の状態を踏まえ、学んだことを活かす場面・事例を複数挙げ、記述できている。または、自施設の状態を踏まえ、どう改善していくのかを記述できている。 (20点) | 所属施設の状態を踏まえ、学んだことを活かす場面・事例は記述されているが、具体性に欠ける。または、自施設の状態を踏まえていないが、何を改善していくのかが不明瞭である。 (10点) |

最高評価 100点